

令和4年度 第1回横浜市動物園等指定管理者選定評価委員会 会議録	
日時	令和4年6月15日(水) 15:10～
開催場所	金沢動物園のはな館
出席者	(委員) 小宮輝之委員、佐渡友陽一委員、関清美委員、藤崎晴彦委員、間曾さちこ委員
開催形態	公開
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1 横浜市動物園等指定管理者選定評価委員会の概要及び委員長の選出 2 会議の公開について 3 事業評価の実施方法について 4 令和3年度第5回横浜市動物園等指定管理者選定評価委員会会議録案について
<p>1 横浜市動物園等指定管理者選定評価委員会の概要及び委員長の選出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員長：小宮輝之委員 ・委員長代理：佐渡友陽一委員 <p>2 会議の公開について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度・5年度の本委員会は非公開で実施 ・議事録要旨は公開する <p>3 事業評価の実施方法について (質疑なし)</p> <p>4 令和3年度第5回横浜市動物園等指定管理者選定評価委員会会議録案について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・承認 <p>5 その他 (金沢動物園視察についての感想)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大変良い刺激を受けた。 ・森の管理により動物園が維持されていること、また動物園運営に関連して周辺の土地の環境整備が進むことを実感した。さらに地域の自然環境のモニターを適切に実施していることは先進的であり画期的な話だと思う。 ・動物園の中で地域の自然を大切にすることは富山や盛岡などの例があるが、世界の動物との結びつきはあまりなかった。世界の動物を飼育することを軸にしつつ地域の環境保全を行うことで、世界の動物保全に結びつくメッセージにつながる。動物園を中心として地域の保全も地球規模の保全も両方できることを今まで考えたことがなかったので、面白いと感じたのと同時にしっかり考えなくてはいけないことであると思った。 ・動物園というとゾウやキリンなどに目が向くが、虫や植物に関する取組、特に動物の餌を園の中で育てる取組(樹木の台切りをして新芽を収穫する)に感銘を受けた。このようなことに注目していくことも大切だと感じた。 ・動物園の中でSDGsの取組などが進んでいることを感じた。 ・横浜にありながら自然の中を歩ける場所としてもとても良い。動物を見に来る場所であるとともに、 	

ユリやアジサイなど季節を楽しむことも金沢動物園の存在意義である。

- ・トゲネズミやミゾゴイの飼育を行い、また田んぼを作るなど日本の里山という意識で上手に展開していると感じた。ズーラシアとの特徴分けがしっかりできている。
- ・ミヤコタナゴをきれいな水槽で見ることができるが、それだけでは守り切れずどこかに池が必要である。例えば動物のモートなどを利用することも一つである。金沢ではオオツノヒツジのところなどに池を作ってみたら、さらに保全につながると思うので試してほしい。
- ・イノシシとニホンジカについて、山では困っている人たちも多い。テレビで見たが電柵や網をつけても、美味しいものがあればすぐにほじくり返してしまっていた。それに対して、トウガラシやこんにゃくなど嫌いなものを2m位植えて中央で作物を育てるというアイディアを出して実践していたが、それにより本当に作物が守られていた。動物園でも里山をテーマにするなら田んぼと併せてイノシシ除けの植物も一緒に展示するなど害獣対策についても触れていくと、大人も来てくれると思う。
- ・アライグマとタイワンリスを防ぐための知恵など、まさしく今このようなことをやっているというアピール自体に意味があると思う。

→金沢動物園は動物園でありながら全体としては自然公園である。横浜市の規模の大きい自然公園は個々に公園の保全計画を進めていくことになっており、金沢動物園でも一昨年より動物園の施設担当が主体となって金沢自然公園の保全計画をすすめている。さらに昨年からは、そこに飼育スタッフによるチームが加わり、以前から取り組んでいた身近な生き物、国産の生き物、地域の生き物を保全する動きとうまくかみあい、良いスピードで進んでいる。特に金沢動物園の職員が公園管理の視点から全体を見るようになったのが大きな効果である。

また、ミヤコタナゴのアイディアも大変参考になった。一方で、ミヤコタナゴは天然記念物のため、横浜市の所管は教育委員会になっている。教育委員会では、金沢動物園、野毛山動物園、県の内水面試験場、東海大と検討会を作っており、そこが中心となり野生復帰の取組を実施している。その取組には、野毛山動物園と金沢動物園のスタッフも参加しており、今後ズーラシアを含めてうまく軌道に乗れば動物園のスペースを使うなど発展していくことも考えられると思っている。

- ・スタッフが現地をよく知っていて、そこに対する熱い想いもありすごく魅力的だと感じた。これからはそれを市民の皆さんに伝え共有し、さらに支えてもらい応援してもらう形を作ることが必要で大切なことである。時間が掛かることではあるが、折角市役所や動物園が頑張っていることなので形にできるとよいと思う。

→発信しなければ支えていただくこともできないので、そこは課題として認識していく。

(今後の日程)

7月13日(水)午後 野毛山動物園・よこはま動物園ズーラシア視察

9月21日(水)午後 事業評価